



▲渥美郷土資料館収蔵の雛人形や、手作りのつるし雛を飾った「まちなか博物館」(ショッピングセンターレイ内)



▲検討会でロードマップをお披露目

地域の話題

福江校区

歴史ある町並みを活かした「まちおこし」

地域のまちづくり団体や住民などが中心となり
景観まちおこしに取り組んでいる
福江校区コミュニティ協議会からお便りが届きました。



「地域の誇り」でまちおこし
地域活性化を

雛人形を活用した
つるし雛ロード



福江校区には、城坂^{しろがき}周辺に代表される昔の面影を残した町並みのほか、多くの史跡や名所があります。「地域の誇り」ともいべき町並み保存のために何をすべきか、校区では平成24年度から景観まちづくり意見交換会やワークショップを開催し、校区の景観を意識したまちづくりに取り組んできました。

平成25年度は、福江地区まちなみ景観づくり検討会で、福江の城坂周辺の景観ルールづくりについて検討を重ねています。平成25年8月には、先進地である岐阜県恵那市を訪問し、福江でも実行できる景観まちおこしの事例を学びました。

3月8日(土)、渥美ロータリークラブ主催の「免々田川菜の花・桜まつり」に合わせ、福江地区まちなみ景観づくり検討委員や地域住民らが中心となり、雛人形を活用したまちおこしを始めました。これは、河津桜が咲く免々田川沿いから続く店舗などに、保育園児やシルバーサロンの方々が手作りしたつるし雛を飾り、まちなかへ来訪客を誘導することで、賑わいを創出しようという新しい取り組みです。



●見所満載のつるし雛ロードマップ

今後も、地域住民が誇ることのできる町並みを守り活かす取り組みを続けていきます。

を掲載したつるし雛ロードマップを作成しました。このロードマップ片手に、福江のまちなかの散策を楽しむ来訪者の姿が見られました。

